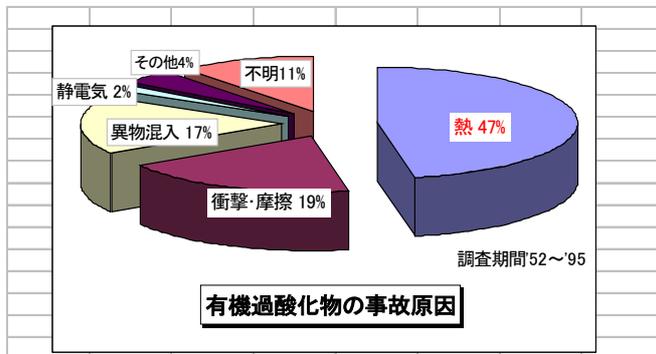
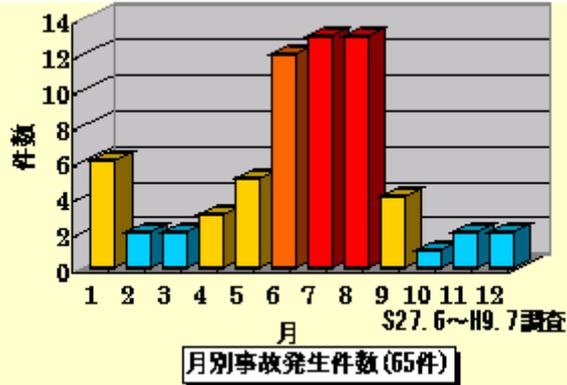


# 事故事例

事故事例の統計を見ると事故発生率の高い季節や原因のパターン等がわかります。右図に月別の事故発生件数を示します。夏場の事故が多いことは一目わかりますが、注目したいのは1月や5月にも事故件数が多いことです。それぞれ大型連休があり、連休の前後で事故が発生しています。



最近の事故は衝撃や摩擦による事故を除くと、左図のとおり熱分解と異物混入による原因が圧倒的に多く、その傾向を知るためそれぞれの代表的な事故例を以下にまとめました。なお、衝撃や摩擦の事故原因の多くは現在では製造されていない純品のベンゾイルパーオキサイドによるものです。

## 熱分解事故事例

No	事故の状況	事故原因
1	配管中の固化した有機過酸化物を蒸気で溶解中分解	過剰な加熱
2	バルブ閉塞により過酸化循環ラインが長時間運転されて配管中の有機過酸化物が分解	ポンプによる蓄熱
3	倉庫より有機過酸化物入りのドラムを約10m引きずったところ分解	摩擦熱
4	有機過酸化物を倉庫に保管中分解	直射日光による蓄熱
5	低温系過酸化物に夏場、常温水を注入したところ分解	高水温による加熱
6	低温系過酸化物が夏場倉庫内で分解	床及び壁と容器の密着による蓄熱

## 異物混入事故事例

No	事故の状況	事故原因
7	こぼれた有機過酸化物をウェスで拭き取りゴミ箱に捨てた所、数時間後に分解	ゴミ箱内の混触
8	一度タンクに入れた有機過酸化物を配管より抜き取りドラムに戻した所、2日後に分解	タンク又はドラムでの混触
9	廃油処理施設の地下タンクで火災爆発事故が発生し電気集塵機、冷却塔、吸収塔等を焼失した。	* 参照

\* ) 廃油地下タンク内のアクリロニトリルと別の廃油中に含まれていた有機過酸化物が混合し暴走重合が発生、トルエンを含む廃油が一気に

お問い合わせは、[peroxide@nof.co.jp](mailto:peroxide@nof.co.jp) までお願いします。